



教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元

## 過激！刺激！感激！ (^o^)

(スケジュールに・発言、意欲に・たくさんのありがとうに)

これからも、<考えるたのしさ>を伝える活動を！

★今の日本でもっとも必要なことは、<少しでも多くの科学知識を教え込むこと>ではなくて、<科学的に考えるたのしさ>を知らせることだと私は考えています。板倉聖宣（日本科学史学会会長・仮説実験授業研究会代表・理学博士）

## 皆さん！ありがとうございました。報告・その③

\*\*\*

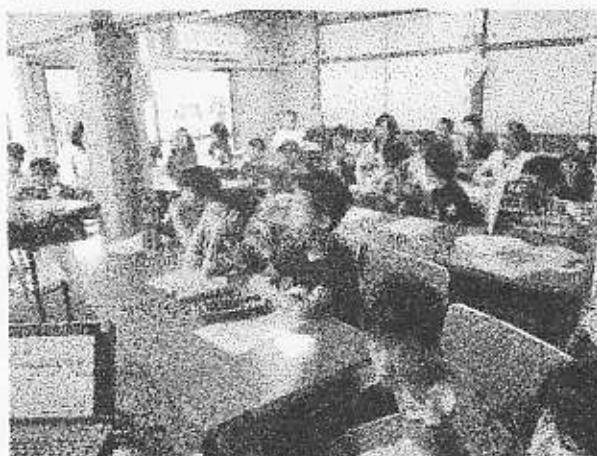
■「分子模型で考える視点」を多くの子ども達に！

報告その③です。ご一読下さい。

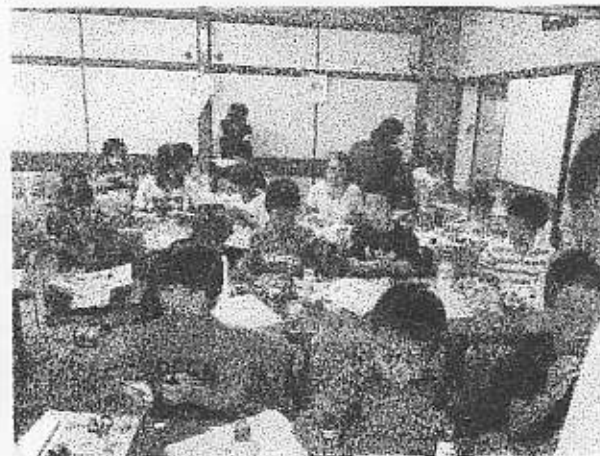
\*

8/22 生野区舍利寺：「わくわく科学教室」（40名）<もしも原子が見えたなら>と「空気の分子模型作り」と<ドライアイスでシャーベット作り>

★早いもので<舍利寺1丁目>のわくわく科学教室も今年で5回目になりました。井上直之さん（喫茶パライソのオーナー。元小学校の先生）と、「舍利寺でも科学実験教室ができればたのしいですね」を切っ掛けに始まった「わくわく科学教室」。今回は、井上さんと上島さんに実験アシスタントをしていただきました。★低学年の子ども達も多数いたので、この<シミュレーション版>授業は、どうなるのかなあ？と不安にもなりましたが、「先生ありがとう！たのしかった！」と何度も言ってくれる、2年生の女の子の笑顔で安心しました。幼稚園児からシニアまで授業に参加していましたが、「年齢差も関係なくできる（授業が成立する）」「<もしも原子が見えたなら>は凄い！」と改めて確信できたイベントでした。



↑8月22日<もしも原子が見えたなら>授業



↑「空気の分子模型作り」



↑ 8月22日<ドライアイスでシャーベット作り>たのしい!

8/23 吹田市 :「わくわく科学教室フェスティバル」(午前100名 午後200名)

午前・科学実験教室 2クラス <ドライアイスで遊ぼう>

午後・科学工作・おもちゃ作り・木端細工など・・・20種類

★午前・科学実験教室は、Aクラスを畑中先生、Bクラスを私が担当しました。50名ずつの子ども達でしたが、今回もとてもたのしい実験になりました。★<SA・子ども教室研究科>の実験アシスタントは、「プロの実験アシスタントだ!」と確信できました。★午後からの<もの作り>は、吹田SA連協の方々の活動でした。今回も、多様な種類に驚きました。シニアになっても、「子ども達に笑顔を届ける活動に参加している皆さん!」う～ん凄い。このような生き方に…感動です。↓



8/24 四條畷市公民館 :「畷キッズランド」(親子20組)

<ユニークロボット・タワッチ君作り>と3種類の<もの作り>

★1時間半で。笠井先生とロボット研究会の皆さんで、<ユニークロボット・タワッチ君作り>をしてもらい、後半30分程度を使って<もの作り>をしました。★「タワッチ君作りもできて、3種類の<もの作り>できた」子ども達は喜んでいました。★今後は、ロボットの授業内容についてより精度を上げることが必要だと思いました。  
**●2013年、夏イベントも大成功でした!・・・さぁこれからは、秋のイベントに向けて、チャレンジです。皆さんの知恵と力をお貸しください!** (吉田輝元・9/1記)